



## 今日の和装家は俳優・篠井英介さん (聞き手/NPO代表理事・吉田重久)



今日はとてもお忙しいスケジュールの中、お時間をいただきありがとうございます。当NPOの会員である銀座サムライのご利用、また和装家に登録いただいたことも併せてお礼申し上げます。

「いえいえ、こちらこそありがとうございます。素晴らしい活動を応援できて光栄に存じます。日本人自体がもつときものに愛情を持つてくれるといいですね」

きものは絶対残していくべき日本文化のひとつだと思い、活動しています。これからもよろしくお願いたします。さうそくですが、篠井様のきものへの想いをお聞かせいただけますか。

「小さい頃から日本舞踊をたしなんでおりましたので、きものはずっと身近にあるもので、今ではある意味仕事着ですから、和装を

「女形をずっと頑張ってきているのですが、現代劇の



「昔の女優さんはいったん、自分の本名を捨てて、自分を押し殺して演じていると思うんですね。そこがとても勉強になります」

女形というのは、歌舞伎や能狂言の女形とは違って、和物だけではなく洋物も、例えばドレスも着こなさなければいけない。そういう意味では両方勉強してきたので、現代劇での女形としての卒業論文と言えるのが『欲望という名の電車』のヒロイン、ブランチ

役なんです。歌舞伎ではない、能狂言でもない、現代劇における独自の女形だと皆さんにお認めいただけるのではないかと目指してきました。好きな役、作品というのもありますが、女性の喜怒哀楽が詰め込まれている感じがして好きなんです

次の舞台を教えてくださいませんか？

「12月の明治座さんですが、これは珍しく王朝時代の劇です。源融(みなもとのとのおる)という役をいただきます。この時代ならではの独特のきもの文化も興味を持って見ていただけるかもしれません」  
(編集部註・明治座の舞台『応天の門』2024年12月4日〜12月22日)

女形として役作りについて気をつけていらっしゃることを教えてくださいませんか？

「実は、普段、街を歩いている女性を拝見しても、役作りの勉強にはならないん

です。それより昔の女優さん、例えば杉村春子さん、山田五十鈴さん、京マチ子さん、そんな女優さんの所作、居住まい、着物の着方までとても勉強になりました。もちろん、日本舞踊と歌舞伎の女形の動きはベースにあるのですが、僕の場合は古典に出るわけではなく、リアルな日常の女を演じることが多いので、そんな昔の女優さんの所作が多いですね。今の女優さん、ありのままの美しさで女優をされている方が多いですが、昔の女優さんは一旦、自分の本名を捨てて、自分を押し殺して演じていると思うんですね。そこがとても勉強になります」

女性の私から見ても羨ましいほど綺麗で、美健康的の秘訣をぜひ教えてください。

「肌のお手入れについて言えば、ごく普通に洗って、

化粧水、乳液と美容液、それだけです。健康については、秘訣と言えるものはありませんが、とにかくたくさん寝ること、必ず7時間以上は寝るようにしていること。それと、好きなだけ甘いものをたくさん食べないようにしています。そういえば、仕事柄色々なところに行くんですが、基本的には歩くんです。タクシーではなく、基本、電車を利用してきますから、階段もあるし、とにかく歩きます。一日、7千から1万歩いていますね。とはいえ、実は、最寄駅から自宅までタクシーを使うことが多いです。その日の仕事が終わって、ホッと

するのかな？」

